

第98期

中間報告書

平成19年2月1日▶平成19年7月31日

INTERIM REPORT 2007

CONTENTS

- 1 ▶ 株主の皆様へ
- 1 ▶ 当社グループの事業の概況
- 5 ▶ セグメント情報
- 6 ▶ 業績の推移
- 7 ▶ 中間連結財務諸表
- 9 ▶ 中間個別財務諸表
- 10 ▶ 会社の概要
- 11 ▶ グループの主な営業所
- 12 ▶ 株主メモ
- 13 ▶ トピックス



株式会社 東京ドーム

株主の皆様へ



代表取締役社長 林 有厚

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成19年7月31日をもって第98期中間期（平成19年2月1日から平成19年7月31日まで）を終了いたしましたので、ここに中間報告書をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ当社グループに対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループの事業の概況 *記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当中間期のわが国経済は、順調な企業業績や設備投資を背景に堅調に推移しているものの、一方で米国景気や原油高などの懸念材料があり、景気の先行きに対する不透明感は払拭されておりません。そのような状況の中で個人消費は伸び悩んでおり、レジャーサービス業におきましては、未だ本格的な回復には至っておりません。

このような情勢下にあります、当社グループは、本年が最終年度となりました3ヶ年中期経営計画「Take off 70」に掲げる3つの経営課題、「連結経営基盤の革新」、「TDC（東京ドームシティ）の事業価値増大」、「CSR経営の推進」の達成に向け、一丸となって取り組んでまいりました。

その中で、不採算のゴルフ・リゾート事業およびリスク事業であるファイナンス事業の見直しを進めた結果、両事業からの撤退を決断し、前期においてファイナンス事業をローン・スター・ファンドへ譲渡いたしました。そして、本年はゴルフ・リゾート事業の5事業場を5月末に、舞子後楽園スキー場につきましては8月末に、それぞれモルガン・スタンレー・グループへ譲渡しております。また、これらの事業再編による欠損金の一括を返すための資本施策として、第97回定時株主総会におきまして、減資ならびに資本剰余金の取崩しを株主の皆様にご承認をいただき、実施いたしました。

当中間期の連結業績といたしまして、東京ドームのプロ野球関連は、読売巨人軍がペナントレースの開幕から好調なスタートを切り活況を呈しましたが、前期開催された「ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）」アジアラウンドなどの特別イベントはなく、減収となりました。一方、コンサートイベントを中心とした各種の催事は動員増に寄与し、東京ドームシティ内の飲食

店・売店収入や東京ドームホテルなどに好影響を与えました。

グループ会社では、不採算のゴルフ・リゾート事業およびファイナンス事業からの撤退により大きく売上が減少いたしました。それらを除く事業は概ね安定的に推移いたしました。

以上の結果、売上高は448億2千9百万円（前年同期比8.7%減）となりましたが、事業再編による改善効果で売上原価、一般管理費が大幅に減少し、営業利益は69億8百万円（前年同期比9.7%増）となりました。営業外損益では支払利息の減少に加え、前期はファイナンス事業の理想ゴルフサービス(株)の解散により持分法による投資損失の計上があり、経常利益は65億8千8百万円（前年同期比102.8%増）となりました。また、当中間期より役員退職慰労引当金を計上することとしましたので、特別損失として過年度分の役員退職慰労引当金繰入損を計上しております。一方、固定資産および有価証券の売却益などの特別利益の計上で中間純利益は64億1千1百万円となり、減損損失と事業整理損失引当金を計上した前期の大幅な純損失から利益計上となりました。

次に事業の種類別セグメント（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む）の概況をご報告申し上げます。なお、当社グループでは、前期に実施いたしました事業再編におけるファイナンス事業の譲渡により、前期までの4区分の事業の種類別セグメントをファイナンス事業を除いた3区分に変更しております。

*グループセグメントの詳細につきましては、5頁をご参照ください。

レジャー事業

■東京ドームシティ事業

東京ドームでは、巨人戦およびパリーグ開催試合が日程によりそれぞれ1試合減となり、前期のWBCアジアラウンドなどの特別イベントがなく、また、テレビ放映が減少したことなどで売上は前期を下回りました。

ラクアは来街者数が前期を上回り、フィットネスクラブ、テナントは堅調に推移したものの、スパは競合施設の増加により利用者数が伸び悩み、減収となりました。

東京ドームシティアトラクションズは、長梅雨による天候不順の影響などで利用者数が伸び悩み、乗り物収入の減少により売上は前期を下回りました。

主に場外馬券発売場として賃貸している黄色いビルでは、「オフト後楽園」が南関東3競馬場の場外発売の好調により売上を伸ばし賃料収入も上昇しましたが、日本中央競馬会の賃料は減額により前期を下回り、わずかに減収となりました。

東京ドームシティ内の飲食店・売店は、東京ドームのプロ野球の試合数が減ったものの、コンサートイベントの好影響などにより売上は前期を上回りました。

東京ドームホテルでは、アジアからの団体客の増加や例年の東京ドームのイベント効果により2月に月間最高稼働率を記録するなど好調を維持し、宿泊客数のアップで宿泊収入が増収となりました。また、婚礼部門も売上を伸ばし、ホテル全体の売上は前期を上回りました。



東京ドーム



和食 春風萬里

■リゾート事業

札幌後楽園ホテルは、激戦区の中で2月の雪まつりや旧正月におけるアジアからの団体客の増加により宿泊部門は宿泊客数、売上ともに前期を上回りました。さらに婚礼部門、外部販売事業も好調で、ホテル全体でも増収となりました。

熱海後楽園ホテルは、インターネット予約の好調などにより宿泊客数は前期を上回ったものの、団体客の比率が下がり付帯収入が減少したことなどでホテル全体の売上は若干ながら減収となりました。

なお、譲渡したゴルフ・リゾートの事業場は本年5月末まで営業をおこない、売上を計上しております。

■その他のレジャー事業

松戸公産㈱が経営する松戸競輪事業では、全国的車券売上が伸び悩む中で本場開催が健闘し売上は前期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体での売上高は383億5千1百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は87億9千8百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

流通事業

バラエティ雑貨小売店の「ショップイン」は、当中間期において土浦店を退店し、藤沢店をオープンいたしました。京阪地区の好調を軸に順調に推移した既存店や、北千住店、心齋橋店などのリニューアル効果により、全体の売上は前期を上回り、利益も大きく伸びております。

以上の結果、売上高は40億2千万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1億5千7百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

その他の事業

ビル管理業におきましては、(株)後楽園総合サービスにおける東京ドームグループ外の受託収入の増加が寄与し、売上は前期を上回りました。一方、松戸公産㈱による不動産賃貸事業の売上は安定的に推移しておりますが、東和工建㈱は前期のような立体駐車場の大型受注がなく減収となりました。なお、事業セグメントの区分の変更により、当中間期より旧ファイナンス事業に含まれておりましたリース事業分などを計上しております。

以上の結果、売上高は53億7千万円、営業利益は4億7千1百万円となりました。

なお、事業セグメントの区分変更前の実質比較では売上高は48億7百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は3億5千万円（前年同期比6.2%減）となります。



札幌後楽園ホテル



ショップイン



MEETS PORT (ミーツポート)

今後の日本経済は、設備投資や個人消費を中心とする内需に引き続き期待がかかるものの、原油価格などの一段の上昇やサブプライムローン問題に端を発する米国経済の減速、円高、株安の影響といった懸念材料により予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況下、当社グループにおきましては、3ヶ年中期経営計画「Take off 70」に沿い、「連結経営基盤の革新」の重要な施策として、不採算事業およびリスク事業から撤退いたしました。これにより、当社グループの業績および財務状況は一時的に大きく毀損されましたが、今後は東京ドームシティの事業価値増大を図る選択と集中を一段と推進するとともに効率的な経営を実現して、グループ全体の企業価値向上、財務基盤の強化ならびに株主資本の回復を図ってまいります。

「TDC（東京ドームシティ）の事業価値増大」の施策として、来春オープン予定の新複合施設「MEETS PORT（ミーツポート）」を建設中です。「MEETS PORT」は、最新の舞台設備により臨場感溢れる、最大約3,100人収容の「多目的ホール」、10店舗の多彩な「飲食施設」、そして季節感溢れる「緑のガーデン」といった3つの施設により構成されます。東京ドームシティのエンタテインメント性の拡充を図るとともに、新たなエントランスゲートとして情報発信し続ける施設を目指します。

また、「CSR経営の推進」では、社会から信頼をいただき、当社グループの経営理念を実現するための取り組みとして、「コンプライアンス・リスク管理の徹底」、「社内コミュニケーションの充実」、「IRの推進」、「社会・地域への貢献と環境対策」の4つを重点に取り組んでまいります。

なお、現在、本年が最終年度となる「Take off 70」に続く次期中期経営計画の策定を進めており、更なる企業価値の向上へ向け、将来を見据えた経営基盤の整備を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成19年10月

代表取締役社長

林 有厚

セグメント情報

(事業の種類別セグメント)

東京ドームグループセグメント

(株)東京ドーム	連結子会社	持分法適用関連会社
レジャー事業		
東京ドーム 東京ドームシティ アトラクションズ(遊園地) ラクア(スパ・フィットネス) 飲食店・売店 リゾートホテル シティホテル その他	リゾートホテル (株)東京ドーム・リゾート オペレーションズ シティホテル (株)札幌後楽園ホテル (株)東京ドームホテル 競輪場 松戸公産(株) その他 (株)後楽園ココモティヴ (株)後楽園スポーツ 後楽園事業(株)	ゴルフ場 TERREY HILLS GOLF AND COUNTRY CLUB HOLDINGS LTD. 競輪場 花月園観光(株)
流通事業		
ショッピング (バラエティ雑貨小売店)		
その他の事業		
不動産賃貸	ビル管理等 (株)後楽園総合サービス リース業等 松戸公産(株) 進商(株) 有価証券の保有・管理 オリンピア興業(株) 後楽園事業(株) 不動産の賃貸・分譲 後楽園不動産(株) 松戸公産(株) 立体駐車場の建設・管理等 東和工建(株)	ビデオソフト制作・ 有線テレビジョン放送等 東京ケーブルネットワーク(株)

セグメント別売上高の推移

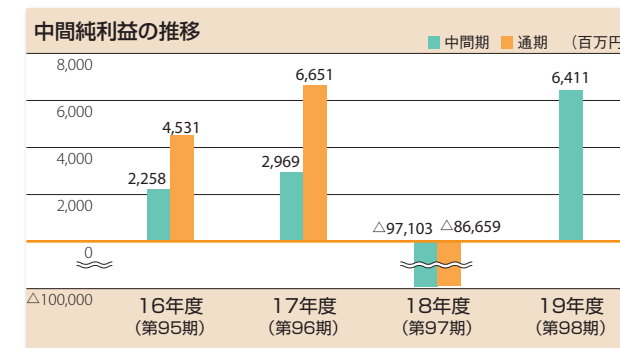
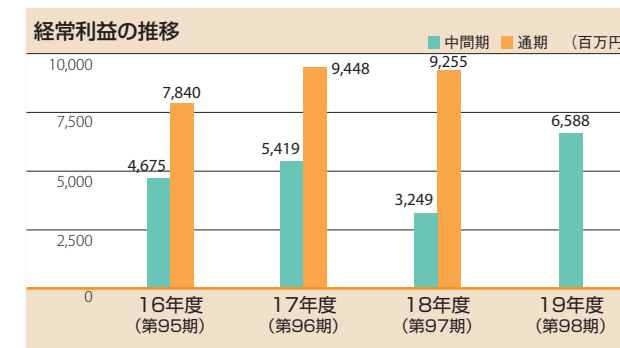
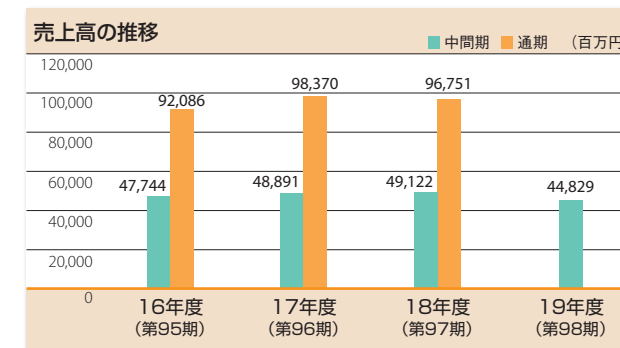
	平成19年度中間		平成18年度中間		比較 増減 (百万円)	前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
レジャー事業	38,351	80.3	39,071	75.2	△720	△1.8
流通事業	4,020	8.4	3,876	7.5	144	3.7
その他の事業	5,370	11.3	8,974	17.3	△3,603	△40.2
計	47,742	100.0	51,922	100.0	△4,179	△8.1
セグメント間取引の消去	(2,913)		(2,799)		-	-
連結	44,829		49,122		△4,293	△8.7

セグメント別営業利益の推移

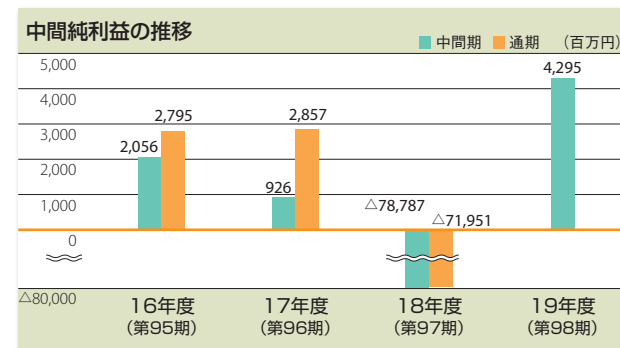
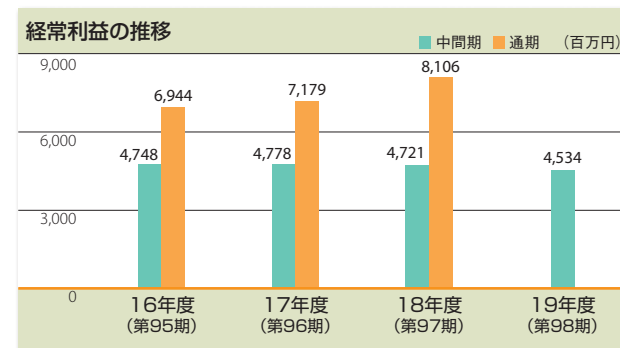
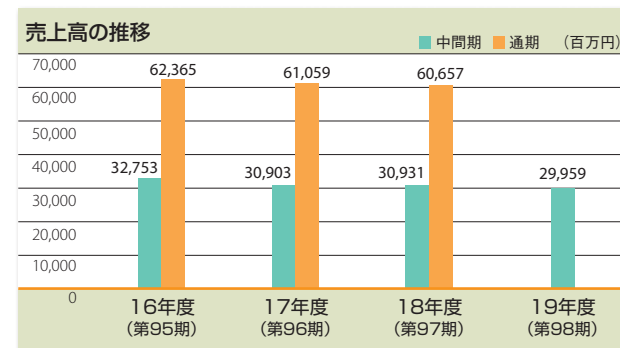
	平成19年度中間		平成18年度中間		比較 増減 (百万円)	前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
レジャー事業	8,798	93.3	8,565	101.3	233	2.7
流通事業	157	1.7	131	1.6	26	19.9
その他の事業	471	5.0	△245	△2.9	717	-
計	9,428	100.0	8,450	100.0	977	11.6
セグメント間取引の消去又は全社	(2,519)		(2,151)		-	-
連結	6,908		6,299		609	9.7

業績の推移

連結



単体



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（概要）

単位：百万円

科目	第98期（中間） （平成19年7月31日現在）	第97期（中間） （平成18年7月31日現在）	比較増減	第97期（期末） （平成19年1月31日現在）	比較増減
資産の部					
流動資産	25,655	108,933	△ 83,278	28,637	△ 2,982
固定資産	307,680	335,793	△ 28,112	316,431	△ 8,751
有形固定資産	250,391	263,500	△ 13,109	260,072	△ 9,681
無形固定資産	1,029	1,050	△ 20	1,082	△ 52
投資その他の資産	56,260	71,242	△ 14,982	55,277	983
繰延資産	758	535	223	898	△ 139
資産合計	334,095	445,262	△ 111,166	345,968	△ 11,872
負債の部					
流動負債	88,116	126,176	△ 38,059	76,859	11,257
固定負債	196,809	282,259	△ 85,450	225,863	△ 29,054
負債合計	284,925	408,435	△ 123,509	302,722	△ 17,796
純資産の部					
株主資本	△ 3,327	△ 21,186	17,858	△ 10,746	7,418
評価・換算差額等	52,497	58,012	△ 5,515	53,992	△ 1,494
少数株主持分	—	—	—	—	—
純資産合計	49,169	36,826	12,343	43,245	5,923
負債純資産合計	334,095	445,262	△ 111,166	345,968	△ 11,872

中間連結損益計算書（概要）

単位：百万円

科目	第98期（中間） 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第97期（中間） 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで	比較増減
売上高	44,829	49,122	△ 4,293
売上原価	34,560	37,040	△ 2,480
売上総利益	10,268	12,082	△ 1,813
一般管理費	3,360	5,782	△ 2,422
営業利益	6,908	6,299	609
営業外収益	2,100	1,989	111
営業外費用	2,420	5,040	△ 2,619
経常利益	6,588	3,249	3,339
特別利益	1,754	2,553	△ 798
特別損失	1,576	113,642	△ 112,066
税金等調整前中間純利益	6,766	—	6,766
税金等調整前中間純損失	—	107,840	△ 107,840
法人税、住民税及び事業税	518	1,077	△ 558
法人税等調整額	△ 163	△ 11,814	11,650
中間純利益	6,411	—	6,411
中間純損失	—	97,103	△ 97,103

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（概要）

単位：百万円

科目	第98期（中間） 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第97期（中間） 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,011	6,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,271	899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,434	△ 19,645
現金及び現金同等物の減少額	△ 6,150	△ 12,360
現金及び現金同等物の期首残高	18,958	26,144
連結範囲変更による現金及び現金同等物の増加額	188	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,995	13,784

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（平成19年2月1日から平成19年7月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年1月31日残高	32,867	16,910	△ 59,130	△ 1,393	△ 10,746	7,449	0	46,717	△ 175	53,992	—	43,245
中間連結会計期間中の変動額												
欠損填補による資本金の減少	△ 30,829		30,829		—							—
欠損填補による資本剰余金の取崩		△ 17,583	17,583		—							—
連結範囲の変更による増加			144		144							144
中間純利益			6,411		6,411							6,411
自己株式の取得				△ 20	△ 20							△ 20
土地再評価差額金取崩額			210		210							210
連結子会社の親会社株式売却による資本剰余金増加額		673			673							673
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 1,146	△ 0	△ 210	△ 137	△ 1,494		△ 1,494
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 30,829	△ 16,910	55,178	△ 20	7,418	△ 1,146	△ 0	△ 210	△ 137	△ 1,494	—	5,923
平成19年7月31日残高	2,038	—	△ 3,952	△ 1,413	△ 3,327	6,303	△ 0	46,507	△ 313	52,497	—	49,169

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間個別財務諸表

中間貸借対照表（概要）

単位：百万円

科目	第98期（中間） （平成19年7月31日現在）	第97期（中間） （平成18年7月31日現在）	第97期（期末） （平成19年1月31日現在）
資産の部			
流動資産	14,738	17,119	17,745
固定資産	317,762	338,182	324,187
有形固定資産	228,290	231,757	231,412
無形固定資産	797	849	856
投資その他の資産	88,674	155,575	91,918
繰延資産	758	535	898
資産合計	333,260	405,837	342,831
負債の部			
流動負債	83,302	86,097	72,168
固定負債	190,852	267,403	214,918
負債合計	274,155	353,501	287,086
純資産の部			
株主資本	6,321	△ 5,004	1,835
評価・換算差額等	52,783	57,340	53,909
純資産合計	59,104	52,336	55,744
負債純資産合計	333,260	405,837	342,831

中間損益計算書（概要）

単位：百万円

科目	第98期（中間） 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第97期（中間） 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで
売上高	29,959	30,931
売上原価	21,400	21,848
売上総利益	8,559	9,082
一般管理費	2,330	2,544
営業利益	6,229	6,538
営業外収益	736	2,330
営業外費用	2,430	4,146
経常利益	4,534	4,721
特別利益	1,537	4
特別損失	1,496	96,656
税引前中間純利益	4,576	-
税引前中間純損失	-	91,930
法人税、住民税及び事業税	18	843
法人税等調整額	263	△ 13,986
中間純利益	4,295	-
中間純損失	-	78,787

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（平成19年2月1日から平成19年7月31日まで）

単位：百万円

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年1月31日残高	32,867	8,217	31,398	39,615	△ 70,445	△ 70,445	△ 202	1,835	5,381	48,527	53,909	55,744
中間会計期間中の変動額												
欠損填補による資本金の減少	△ 30,829				30,829	30,829						
欠損填補による資本剰余金の取崩		△ 8,217	△ 31,398	△ 39,615	39,615	39,615						
中間純利益					4,295	4,295		4,295				4,295
土地再評価差額金取崩額					210	210		210				210
自己株式の取得							△ 20	△ 20				△ 20
株主資本以外の項目の中間会計期間 中の変動額（純額）								△ 914	△ 210	△ 1,125	△ 1,125	
中間会計期間中の変動額合計	△ 30,829	△ 8,217	△ 31,398	△ 39,615	74,950	74,950	△ 20	4,485	△ 914	△ 210	△ 1,125	3,359
平成19年7月31日残高	2,038	-	-	-	4,505	4,505	△ 223	6,321	4,466	48,316	52,783	59,104

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

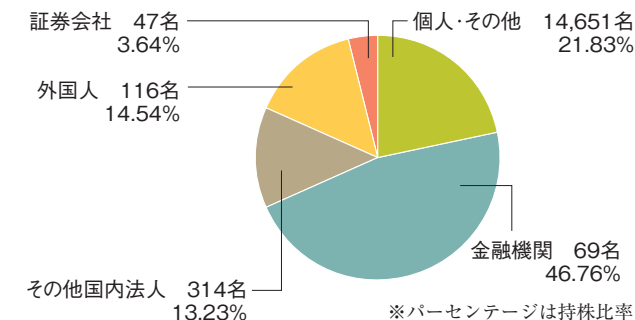
会社の概要（平成19年7月31日現在）

社名	株式会社東京ドーム TOKYO DOME CORPORATION
設立	昭和11年12月25日
本社	〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号 TEL 03-3811-2111（大代表）
従業員数	786名
資本金	2,038,451,007円
発行済株式総数	191,714,840株
株主数	15,197名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	18,188	9.48
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	14,272	7.44
富国生命保険相互会社	8,553	4.46
株式会社みずほコーポレート銀行	6,753	3.52
株式会社竹中工務店	6,686	3.48
日本生命保険相互会社	4,661	2.43
資産管理サービス信託銀行 株式会社（証券投資信託口）	4,613	2.40
日本興亜損害保険株式会社	4,377	2.28
株式会社みずほ銀行	3,610	1.88
ゴールドマン・サックス・ インターナショナル	3,306	1.72

所有者別株式分布状況



役員

地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長 兼社長執行役員	林 有 厚	
代表取締役 専務執行役員	久 代 信 次	管理本部長兼秘書室担当
取締役 専務執行役員	門 脇 輝 彦	営業本部長兼営業本部企画・ 管理担当兼プロモーション担 当兼スポーツ&エンターテイン メント事業担当
取締役 常務執行役員	齊 藤 槇 三	営業本部副本部長兼営業本部ア ミューズメント&アスレティッ ク事業担当兼流通事業担当
取締役 常務執行役員	朝 井 正 昭	経営本部長兼東京ドームシ ティE-GATEプロジェクト チーム担当兼開発室担当
取締役 常務執行役員	阿 部 信 二	管理本部総務部担当兼人事部担当
取締役	秋 山 智 史	富国生命保険相互会社代表取締役社長
取締役	森 信 博	東京リース株式会社執行役員会長
取締役	井 上 義 久	朝日生命保険相互会社取締役 常務執行役員
取締役	秋 山 弘 志	松戸公産株式会社代表取締役社長
常勤監査役	岸 元 征 英	
常勤監査役	栗 田 幹 雄	
監査役	堤 淳 一	弁護士
監査役	野 崎 幸 雄	弁護士
監査役	児 玉 幸 治	財団法人日本情報処理開発協会会長
常務執行役員	桑 原 誠	営業本部飲食&物販事業担 当兼飲食&物販部長
常務執行役員	相 子 行 男	東京ドームシティE-GATE プロジェクトチームリーダー
常務執行役員	本 田 顯 治	営業本部興行企画部長
執行役員	中 村 寿 祥	経営本部関連事業部長
執行役員	山 住 昭 宏	営業本部ショッピン部長
執行役員	野 村 龍 介	営業本部業務部長
執行役員	長 岡 勤	開発室長

グループの主な営業所 (平成19年10月1日現在)

東京ドームシティ 〒112-8575 東京都文京区後楽1-3-61
わくわくダイヤル(ご案内専用電話) 03-5800-9999

東京ドーム (全天候型多目的スタジアム)
東京ドームシティアトラクションズ
ラクア (天然温泉スパ、アトラクション、ショップ&レストラン、フィットネスクラブ)
青いビル

後楽園ホール
サウナ東京ドーム

黄色いビル
東京ドームボウリングセンター
WINS後楽園 (中央競馬)、オフト後楽園 (大井競馬)

プリズムホール (多目的イベントホール)
東京ドームシティおもちゃ王国 (見て、触れて、体験できる「おもちゃ」のテーマパーク)
レストラン、ショップ、ゲームセンター 各店

テナントビル

松戸公産アドホック新宿ビル (東京都新宿区) 03-3354-2100
プチモールニツ木 (千葉県松戸市) 047-374-5511

ショッピングイン (バラエティ雑貨小売店)

北海道エリア

札幌バセオ店 011-213-5181

東京23区エリア

恵比寿店 03-5475-8393
自由が丘店 03-3725-2661
品川店 03-3473-6685
お茶の水店 03-3293-9550
北千住店 03-3879-1163
赤羽店 03-3905-2050
荻窪店 03-3393-5515
錦糸町店 03-3624-2130
東京ドームシティラクア店 03-3868-7066

東京23区外エリア

国分寺店 042-327-1066
国立店 042-574-7585
町田店 042-726-1180

関東エリア

たまプラーザ店 045-903-2156
茅ヶ崎店 0467-88-2888
溝の口店 044-814-7524
横須賀店 046-820-4451
藤沢店 0466-55-1525
市川店 047-320-9280

東京ドームホテルズ

札幌後楽園ホテル (北海道札幌市) 011-261-0111
東京ドームホテル (東京都文京区) 03-5805-2111
熱海後楽園ホテル (静岡県熱海市) 0557-82-0121

船橋店

千葉ペリ工店 047-425-0700
松戸店 043-222-7600
水戸店 047-364-7185
029-231-4117

東海中部エリア

名古屋店 052-264-6535

関西エリア

梅田店 06-6348-4634
淀屋橋店 06-6227-4153
心齋橋店 06-6258-3907
大阪京橋店 06-6356-3408
天王寺店 06-6770-1172
枚方店 072-861-3250
京都駅店 075-365-8628
河原町店 075-255-8141
川西店 072-740-2544
西神戸店 078-992-0095
甲子園店 0798-81-6802

中国エリア

岡山店 086-232-1060
広島店 082-245-4064

九州エリア

小倉店 093-512-1183

ゴルフ

TERREY HILLS GOLF AND COUNTRY CLUB (SYDNEY, AUSTRALIA) +61-2-9450-0155

競輪場

松戸競輪場 (千葉県松戸市) 047-362-2181



ラクア



熱海後楽園ホテル



松戸競輪場

株主メモ

証券コード 9681

決算期 1月31日

定時株主総会 4月

配当金受領 期末配当金 1月31日

株主確定日 中間配当金 7月31日

基準日 定時株主総会 1月31日

その他必要あるときは、予め公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社証券代行部 証券代行事務センター

電話 03 (3323) 7111 (代表)

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

各種手続用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-87-2031

インターネット/ホームページアドレス

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

名義書換手数料 無料

公告掲載新聞名 日本経済新聞 (東京)

株主ご優待権利確定日 1月31日

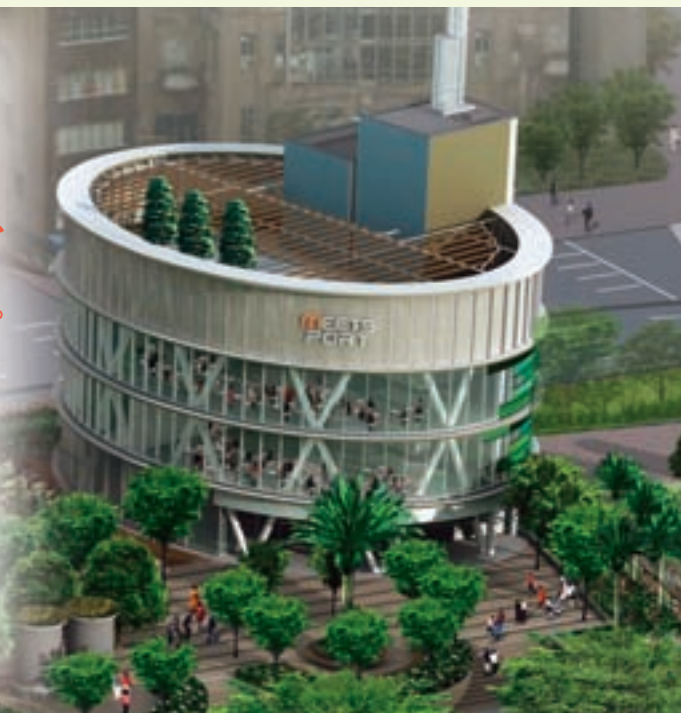
株主ご優待基準・ご優待の内容

ご優待の内容	ご所有株式数					
	1,000株以上	3,000株以上	4,000株以上	10,000株以上	30,000株以上	60,000株以上
① 野球株主証	—	—	巨人戦立ち見・ 日本ハム戦外野席1枚	巨人戦立ち見・ 日本ハム戦外野席1枚	巨人戦指定席C席・ 日本ハム戦指定席1枚	巨人戦指定席A・B席1枚 またはC指定席2枚・ 日本ハム戦指定席1枚
	対象	平成19年に東京ドームで開催されるプロ野球公式戦 (ジャイアンツおよびファイターズの主催試合) 全試合				
② 東京ドームシティ アトラクションズ乗り物券	—	5回	5回	10回	20回	20回
	有効期限	平成20年3月31日まで				
③ スパラクア入館券	—	2枚	2枚	4枚	10枚	10枚
	有効期限	平成20年3月31日まで				
④ 東京ドーム500円優待券	6枚	6枚	6枚	6枚	20枚	20枚
	有効期限	平成20年3月31日まで				
⑤ スパラクア割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
	有効期限	平成20年3月31日まで				
⑥ 東京ドームホテルズ 宿泊割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
	有効期限	平成20年3月31日まで				
⑦ 東京ドームホテルズ 飲食割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
	有効期限	平成20年3月31日まで				
⑧ 松戸競輪場株主証 (一般入場料1名分無料)	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
	有効期間	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで				

進化する、東京ドームシティ。 進化させる、ミーツポート。

東京ドームシティの事業価値をさらに増大させる、
MEETS PORT（ミーツポート）。
2008年春の開業に向けて、カウントダウン開始。

中期経営計画「Take off 70」の核となる新事業として完成直前のミーツポート。「Hall（ホール）」「Dining（ダイニング）」「Garden（ガーデン）」の3つの機能を持つ複合施設として、東京ドームシティの東ゲート地区の集客力を大幅に向上させ、東京ドームシティの新たな玄関口としてシティ事業の牽引役に加わります。「ホール」は、スタンディングで最大約3,100人の収容能力を持ちながら、最後部席からステージまで約25mという一体感が特長。「ダイニング」は、気軽に立ち寄れるカジュアル感覚の10店舗を集積。「ガーデン」は、3階デッキに広がる空中庭園としてミーツポートを象徴します。



ミーツポートが東京ドームシティに 新たなシナジー効果をもたらす。



ここが知りたい！ ミーツポート15の質問

ホールについて

Q1：開催可能なイベントの種類は何ですか？

コンサート、演劇、格闘技、サーカスなど、多彩なイベント開催が可能。ステージや座席の転換で柔軟に対応できます。

Q2：収容人数はどれくらいですか？

スタンディングで最大3,120人、着席で最大2,507人、中央にステージを設置した場合は最大2,754人です。

Q3：音響・照明設備の特長を教えてください。

最先端の高性能スピーカーを採用し、内装も音が快適に聞こえる吸音仕様です。照明もピンスポットから広域を照らすパーライトまで、最新式です。

Q4：用意されている主な設備は何ですか？

あらゆる演出に対応する「すのこ仕様」天井、吊りもの機構などを完備。地下3階まで大型トラックで直接搬入できます。

Q5：託児スペースはあるのですか？

地下3階のロビー（ロビー）にある多目的ルームを利用し、保育士などを手配することで簡易託児所として使用できます。

Q6：ホールの利用料金はいくらですか？

数種類ありますが、例えば平日料金でスタンディングコンサートが252万円、着席タイプは220万5,000円です（ともに税込）。

Q7：稼働率の見込みを教えてください。

ステージや座席の転換により、幅広いイベント・ニーズに柔軟に対応できるので、75%を見込んでいます。

ダイニングについて

Q8：どんな感じのお店が、いくつ入るのですか？

気軽に利用できるカジュアルな店舗を中心とした10店舗。各階で、多彩な飲食スタイルを楽しめます。

Q9：深夜まで営業するお店はありますか？

できるだけ多くのご要望にお応えする方針ですが、店舗によって、午前0時くらいまでの営業を検討しています。

ガーデンについて

Q10：庭園のイメージと、広さを教えてください。

四季を感じる花や木を多く植えた、明るく開放感ある庭園になります。広さは東京ドームのグラウンドの約1/3。

Q11：植えられる木の種類は何ですか？

約25種、高低木合わせて約150本を植えます。松やケヤキのほか、夏みかんなど東京ドームシティになかった種も植えられます。

Q12：緑を楽しめる屋外飲食店はつくりますか？

せっかくの緑豊かな環境を利用しない手はありません。ピアガーデンに限らず、楽しい屋外店舗を予定しています。

その他

Q13：5階建てにした理由を教えてください。

都市計画法により、高いビルは業種の制約があることなどから、事業面での総合バランスを考えて5階層としました。

Q14：バリアフリーへの対応はどうなっていますか？

できる限り段差をなくし、スロープやエレベータを設置するなど、高齢者や障害のある方々にも十分配慮した設計となっています。

Q15：プロジェクトを進める際の苦労は何ですか？

計画地が都市計画公園であるため、東京都や文京区など行政面における制約や調整事項が多いのが大変でした。

東京ドームの2つのウェブサイト

IR情報をはじめ企業情報につきましては、様々な情報を「東京ドーム コーポレーション & IRサイト」にも掲載しております。

また、「東京ドームシティウェブサイト」では、東京ドームで開催されるイベントなど、営業情報の充実を図っております。

ぜひ2つのウェブサイトにアクセスしてみてください。



企業情報サイト

東京ドーム コーポレーション&IRサイト
<http://www.tokyo-dome.jp>



営業情報サイト

東京ドームシティウェブサイト
<http://www.tokyo-dome.co.jp>



株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
TEL 03 (3811) 2111 (代表)